

★ まちの防災情報点検 (第4回ワークショップ) の内容 ★

○自助・共助による防災まちづくりの必要性を確認しました。→これからは、自助、共助による防災への取り組みが一層求められる背景が、いわき市より説明されました。【右図参照】

○まちの防災情報を確認し、地図にまとめていきました。(下写真はお話し合いの様子です。オモテ面も参照ください)

○次回は、これまでの材料と今回の話し合いをもとに地区の防災情報満載の「ハザードマップ」を完成させます。

自助・共助による防災まちづくりの必要性 (当日の市の資料のまとめ)

- 人口減少・少子高齢社会の加速化
- 東日本大震災など想定外の災害の発生
⇒ハード対策、行政の防災対応力にも限界がある。

(公助だけではなく)『自助』『共助』が大切

『自助』 自分の身は自分で守る

『共助』 近隣が互いに助け合って地域を守る



他地区のワークショップでは、空き家の増加による防災面での課題について話し合われたとのことだが、玉川町地区でも話し合った方がよい。



急な斜面が多く、まず住民への啓発が必要。



今、自治会を基本とした地域の助け合いこそが重要。日頃のゴミ出し、落ち葉掃除などを通じた顔の見える関係やつながりが、災害時にも役立つ。

公園といっても、斜面に立地した場所では危険かもしれない。災害時の住民の行動を考えておく必要がある。

次回の防災まちづくりワークショップの予定

※「防災まちづくりワークショップ」は、地区の住民のみなさんの話し合いにより、ハザードマップや計画づくりを進めるもので、平成27・28年度にわたり全10回行います。

※次回平成28年2月6日(土)は、これまでの検討をもとに、地区の防災情報満載のハザードマップを確認します。これからでも参加できますので、是非参加してみませんか。【申し込みは下記の連絡先まで】

回数	時期	取り組み
第5回	2月6日(土) 午前10時~12時	○ハザードマップの作成 ○2年目の活動計画の検討

※第6回以降は平成28年4月以降に、自助・共助・公助による課題への取り組みを皆さんと話し合っていきます。

◆防災まちづくり活動支援事業に関するお問合せは



いわき市行政経営部危機管理課：植野(うえの)、久野(ひさの)、藁谷(わらがい)
(電話 22-7551(直通))